

**メンテナンス** バックアップしてますか？

出勤して、まずパソコンの電源ボタンを押す。しかしパソコンが起動しない！昨日までちゃんと動いていたのに！なんてことあったら怖いですね。でもこれは本当に起りえる話です。起ってしまった経験のある方もいらっしゃるでしょう。このような状況に遭った時のためにも、まめにデータをバックアップすることをお勧めします。

何をバックアップする？

では、どのようなファイルをバックアップすればよいのでしょうか。自身で作成したワード、エクセルのファイルやデジカメの写真などはマイドキュメントに保存していると思います。これらはそのままフォルダごとバックアップすればよいですね。その他、バックアップした方がよい主なデータには、

- (1) ブラウザのお気に入り
- (2) メールアカウント設定
- (3) メールのメッセージ
- (4) メールアドレス帳
- (5) IME (日本語入力) 辞書データファイル

などが挙げられます。これらは各ソフトのメニューから簡単にエクスポート、インポートできるようになっています。

何にバックアップする？

最近はUSBメモリの大容量化、低価格化が進み、その扱い易さからバックアップするにはもってこいのメディアとなりました。また、外付けハードディスクも高速化、大容量化、低価格化が進み、パソコン本体のハードディスクの中身をOSも含めて丸ごとバックアップするなんてことも可能となりました。また、DVDやブルーレイディスクも大容量のデータを保存するメディアとして注目されます。

データのバックアップは業務のサイクルやパソコンの使用頻度に合わせて適宜行いましょう。会計データなどは月次の処理が終わるタイミングで保存するのがよいでしょう。データをバックアップすることでパソコンをより安心、安全に使いましょう！

インターネット オンライン・ストレージ活用術！

クラウド・コンピューティングの中でもオンライン・ストレージ・サービスは最も利用が容易で便利なWEBサービスのひとつであると思います。簡単に言えば、オンライン・ストレージ・サービス(以下、OSS)とは、クラウド(インターネット)上にデータを保存するサービスです。今回は数あるOSSの中からDropboxをご紹介します。

簡単同期 Dropbox!

Dropbox(ドロップボックス)は、Dropbox社が提供するOSSです。無料で2GBまでのデータを保存することができます(ただしユーザー登録が必要)。

一般的なOSSはWEBサイトにアクセスし、ブラウザ上からファイルのアップロード、ダウンロードなどの操作を行います。

Dropboxの場合は、自分のパソコンのマイドキュメントの中などに作成した専用のフォルダにファイルを保存するだけで、自動でクラウド上にアップロード(同期保存)されます。またダウンロード(更新保存)も

**<Dropbox のWEBサイト>**

自動で行われます。一般的なOSSは手動でファイルの同期を行うため、複数のパソコンでOSSを利用する場合、うっかり同期を忘れると、どれが最新のファイルか分からなくなることがあります。しかし、Dropboxはユーザーが意識することなく自動同期されるので、大変利便性がよいです。また、iPhone/iPadやAndroid携帯などのスマートフォンでも利用することが出来ます。

また、ファイルの更新履歴を管理する機能があるため、間違えて削除や上書きしてしまったファイルを復元することができます。これは非常に便利なバックアップ機能と言えます。

Dropboxを利用するためには専用のソフトウェアをインストールする必要があります。残念ながらDropboxは英語版のみで少しハードルが高く感じますが、非常に便利なサービスですので、ぜひ、活用してみたいかがでしょうか。

編集後記 先日、自宅のパソコンが壊れてしまい新しく買い換えました。データはNAS(ネットワークディスク)へ保存し、メールはWEBメールのサービスを利用しているので、データ破損等の被害は0でした。NASもRAID1(ミラーリング)で運用するなどデータのバックアップ体制も万全です！外付けHDDも大容量化・低価格化し、ブロードバンドの普及によりWEBサービスの利便性も良くなりました。新しい技術を複数組み合わせることで、安心・安全なパソコンライフを送りましょう！(本田)